

令和 4 (2022) 度流域モニタリング一斉調査結果 (西三河地域)

1 背景

水循環再生行動計画では、水循環に対する県民意識の向上を図るため、気軽に参加できる水環境の調査として、「流域モニタリング一斉調査」の実施を位置付けています。

この一斉調査は、水質・水量・生態系・水辺といった水循環に関する項目からなる「水循環再生指標」(平成 19 (2007) 年 7 月作成) を活用したもので、平成 21 (2009) 年度から実施しています。水循環再生に向けた取組の評価や見直しに活用するだけでなく、流域全体の状況把握や流域内の連携向上を期待して行っています。

2 参加者の公募状況

幅広い県民を対象に流域モニタリング一斉調査の参加を促すため、事務局(県環境局環境政策部水大気環境課)が令和 4 (2022) 年 3 月 29 日から参加者を公募しました。

また、市町村には参加者公募の広報を依頼し、29 の市町村が広報、ホームページ、チラシ等を活用して公募を行いました。

表 1 公募状況

地域名	広報	ホームページ	チラシ	複数 (広報+チラシ等)	その他	合計
尾張地域	3 (3)	3 (2)	1 (2)	6 (6)	0 (0)	13 (13)
西三河地域	3 (4)	2 (1)	1 (1)	5 (4)	0 (0)	11 (10)
東三河地域	1 (2)	2 (0)	0 (1)	2 (2)	0 (1)	5 (6)
合計	7 (9)	7 (3)	2 (4)	13 (12)	0 (1)	29 (29)

※ () 内は、令和 3 (2021) 年度の状況を示す。

< 参考 >

	広 報	ホーム ページ	チ ラ シ	複数 (広報+チラシ等)	そ の 他	合 計
令和 3 (2021) 年度	9 (4)	3 (1)	4 (1)	12 (4)	1 (0)	29 (10)
令和 2 (2020) 年度	10 (4)	3 (1)	4 (1)	12 (4)	0 (0)	29 (10)
令和元 (2019) 年度	10 (4)	5 (2)	0 (0)	12 (7)	1 (0)	28 (13)

※ () 内は、西三河地域の状況を示す。

＜広報参考例＞

**流域モニタリング一斉調査
に参加しませんか**

時 調査期間 ➡ 6月5日(日)～9月30日(金)の希望日

内 身近な川や池等で「水のきれいさ」「水の量」「生態系」「水辺の様子」を調査

申 申込書を持参かファクス・Eメールで環境都市推進課 (FAX(76)1112/kankyo@city.anjo.lg.jp)へ
※申込期限は調査時期により異なります。

詳細は市HPを参照。

問 環境都市推進課 (☎71)2206)



広報とよた 2022年5月号

親子で川の生きもの調査

7月23日(日) 9時30分～12時

逢妻川流域

川の汚れの指標となる水生生物を採取し、水環境保全への意識の向上を図ります。



市内小学生以上の子と親30人

※申込多数の場合は抽選し、結果は全員に連絡します。

7月13日(水) 必着 までに、①生きもの調査希望、②郵便番号・住所、③参加者全員の氏名(フリガナ)、④年齢(成年)、⑤電話番号をハガキ、24_34811@city.kanagawa.lg.jp または直接、環境推進課(〒440-8501 刈谷市役所 へ)。

環境推進課 ☎62・1017

かりや市民だより 2022 年 7 月 1 日号

広報あんじょう 2022 年 5 月 1 日号

3 参加者の実施状況

表 2 实施状况

地域名	実施状況（令和 4（2022）年度）			
	市町村数	参加団体数	延べ参加人数	延べ調査地点数
尾張地域	7（8）	42（58）	205（274）	45（93）
西三河地域	9（9）	57（48）	430（596）	195（232）
東三河地域	4（3）	6（8）	103（98）	23（33）
合計	20（20）	105（114）	738（968）	263（358）

※（ ）内は、令和3（2021）年度の状況を示す。

※令和4（2022）年度は、伊勢湾流域圏一斉モニタリング（国土交通省・中部地方整備局）は含まず。

※前年度とも水質環境目標値市民モニタリング（名古屋市・夏期）及び油ヶ湫流域水環境モニタリングを含む。

<参考>

	市町村数	参加団体数	延べ参加人数	延べ調査地点数
令和 3 (2021)年度	20 (9)	114 (48)	968 (596)	358 (232)
令和 2 (2020)年度	17 (5)	103 (38)	591 (191)	180 (45)
令和元 (2019)年度	21 (8)	121 (51)	973 (306)	220 (91)
平成 30 (2018)年度	20 (7)	104 (44)	937 (257)	160 (47)
平成 29 (2017)年度	21 (11)	108 (45)	1,273 (494)	196 (80)
平成 28 (2016)年度	24 (12)	122 (52)	1,271 (555)	196 (87)
平成 27 (2015)年度	27 (11)	127 (55)	1,207 (443)	213 (106)
平成 26 (2014)年度	16 (7)	120 (67)	691 (151)	146 (82)
平成 25 (2013)年度	21 (8)	103 (52)	913 (352)	141 (70)
平成 24 (2012)年度	22 (9)	141 (88)	1,002 (362)	230 (152)

※（ ）内は、西三河地域の状況を示す。

※水質環境目標値市民モニタリング（名古屋市・夏期）を含む。平成 27（2015）年度以降は伊勢湾流域圏一斉モニタリング（国土交通省・中部地方整備局）、令和 3（2021）年度は油ヶ湍流水域水環境モニタリングを含む。

4 調査結果

(流域別及び各調査地点の評価については別紙参照)

- 延べ参加人数は 738 人（昨年度比 7%増※）、延べ調査地点数は 263 地点（昨年度比 6%減※）でした。

尾張地区では、市町村数、延べ参加者数が昨年度を上回る結果となりました。西三河地区では、延べ参加人数、調査地点数において昨年度を下回る結果となりましたが、市町村数、参加団体数は昨年度を上回る結果となりました。東三河地区では、市町村数、延べ参加人数、参加団体数、調査地点数すべてにおいて昨年度を上回る結果となりました。

※令和 4 年度の伊勢湾流域圏一斉モニタリング（国土交通省・中部地方整備局）の提供を現時点で受けられていないため、当該調査を含まない比較。

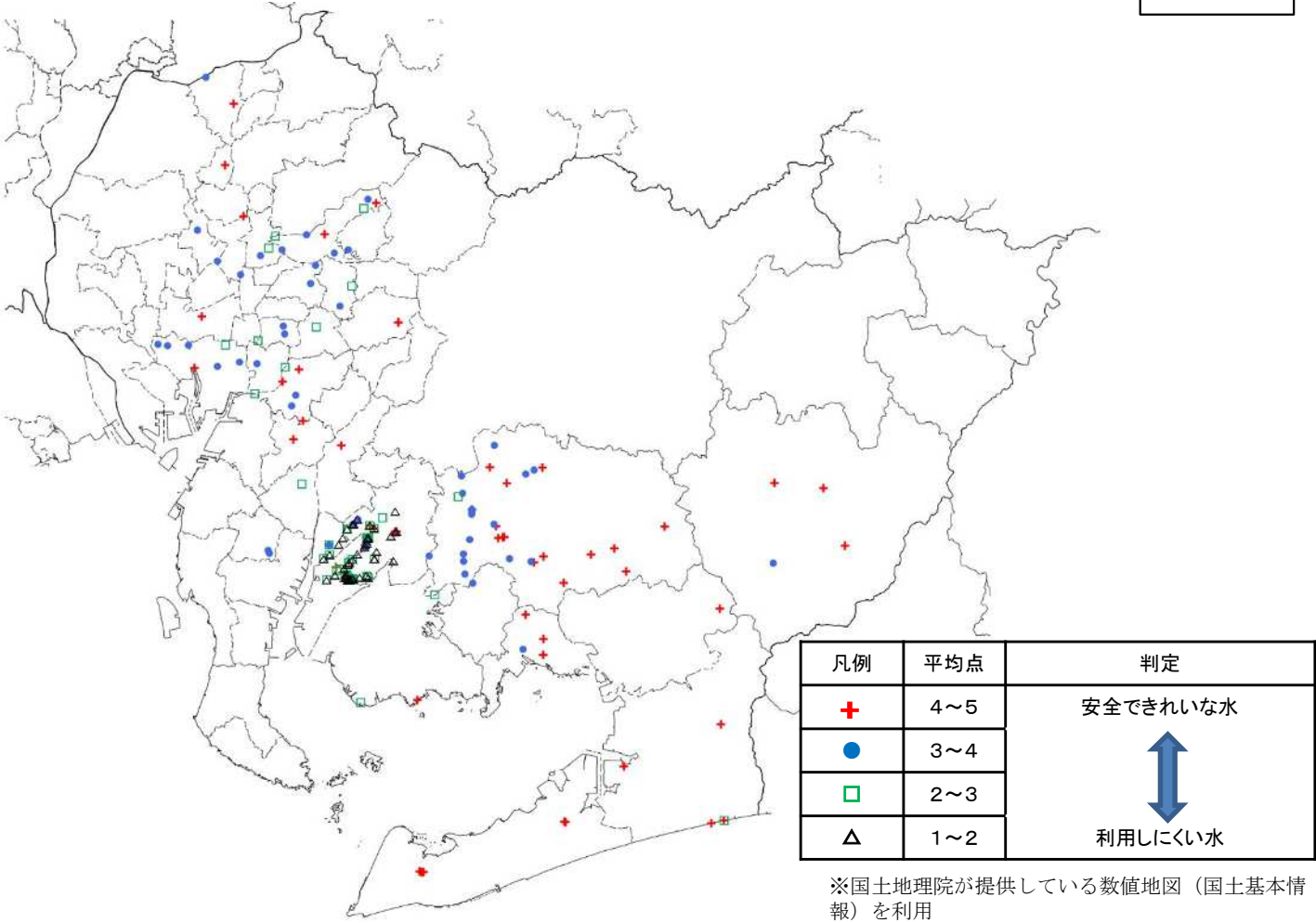
- 各地域の調査地点は、多くが河川の中下流部で実施された評価となっています。
 - ・ 尾 張 地 域：木曽川・庄内川等流域では、水質、水量、生態系及び水辺の 4 項目が 2.8～3.7 点で、バランス良く評価されています。

日光川等流域では、水量が 2.0 点で、概ね昨年度と同様他項目と比較し低く評価されています。なお、生態系は、名古屋市が実施している市民モニタリング調査と兼ねた実施結果を基にしているため、未評価となっています。

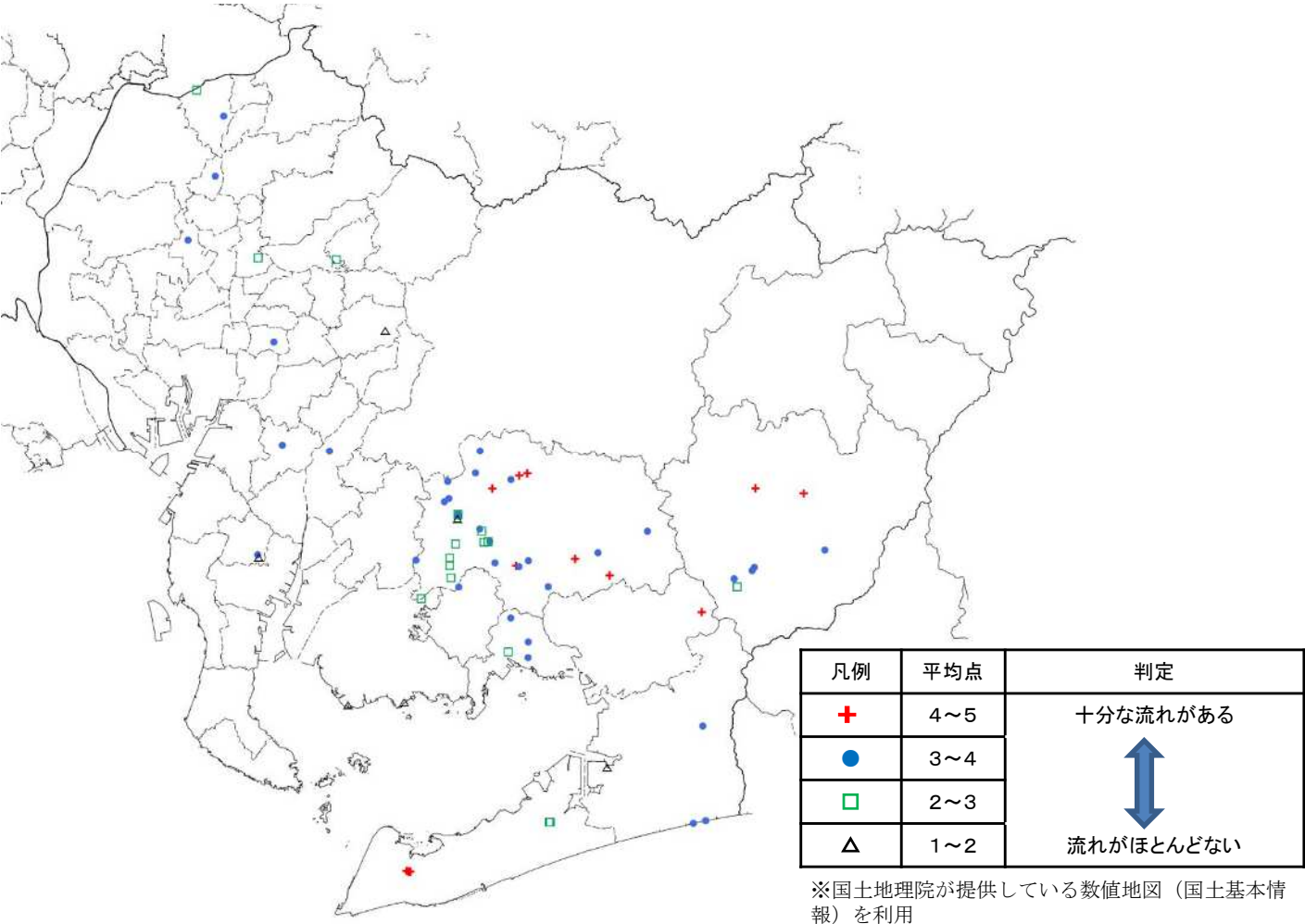
伊勢湾沿岸域（知多半島等）では、昨年度同様、調査未実施でした。
 - ・ 西三河地域：矢作川等流域では、水質、水量、生態系及び水辺の 4 項目が 3.4～4.0 点で、バランス良く評価されています。

油ヶ淵等流域では、水質及び水辺が 2.5 点及び 2.7 点と概ね昨年度と同様の結果となっております。また、油ヶ淵流域水環境モニタリング調査と兼ねた実施結果を基にしているため、水量及び生態系の 2 項目は未評価となっています。

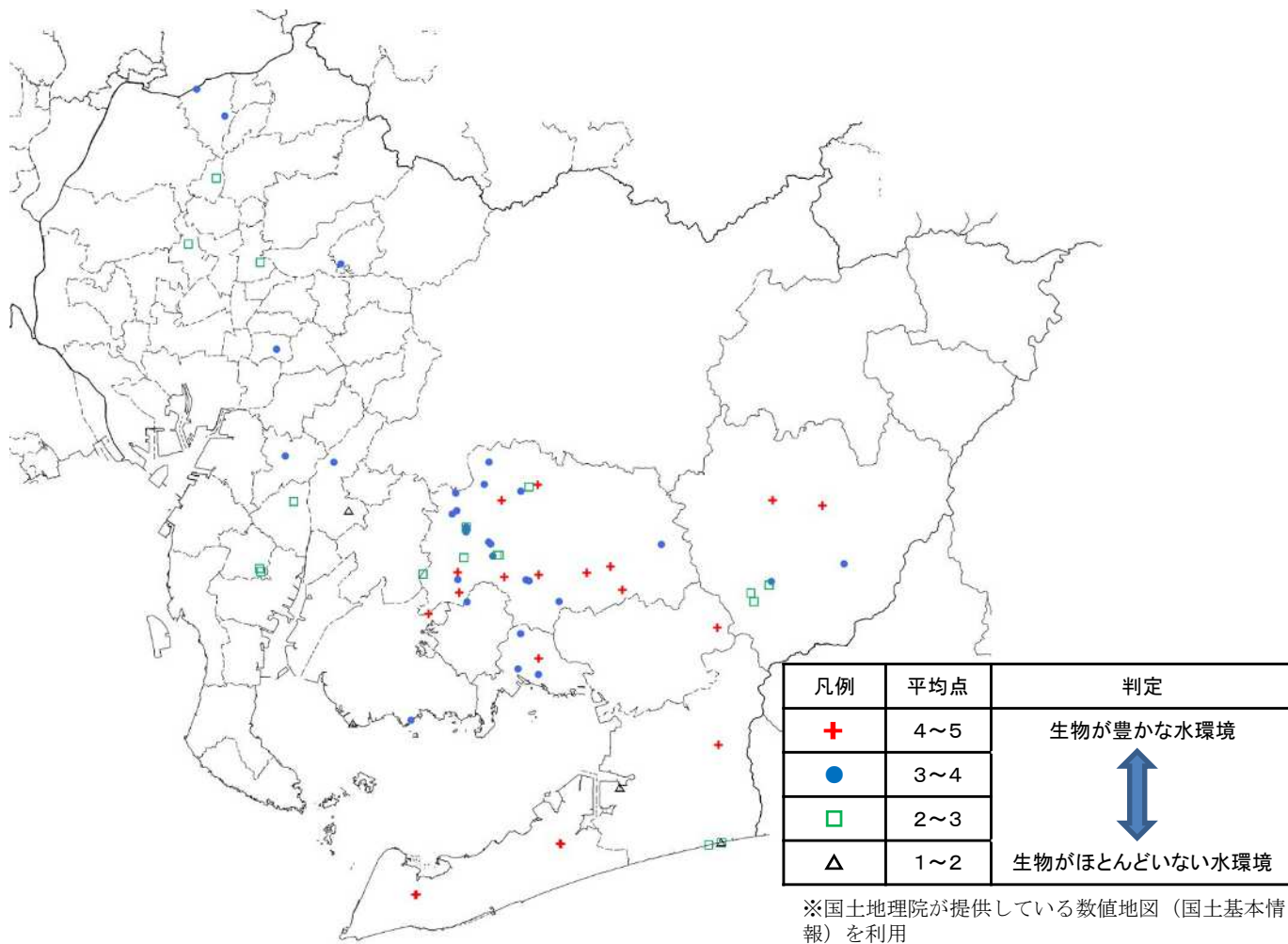
三河湾沿岸域（知多半島等）では、水辺が 1.9 点で多項目と比較し低く評価されています。
 - ・ 東三河地域：当地域の豊川・天竜川等流域、三河湾沿岸域（豊川・蒲郡）及び三河湾・外海沿岸域（渥美半島等）では、水質、水量、生態系及び水辺の 4 項目が 3.1～4.3 点とバランス良く、また他の流域と比較し高く評価されています。特に、水質は、4.2～4.3 点で、昨年度同様、高い評点となっています。
- 今後とも、調査未実施のない県域全体の評価がバランス良く行えるように、モニタリングの参加者の増加を目指します。



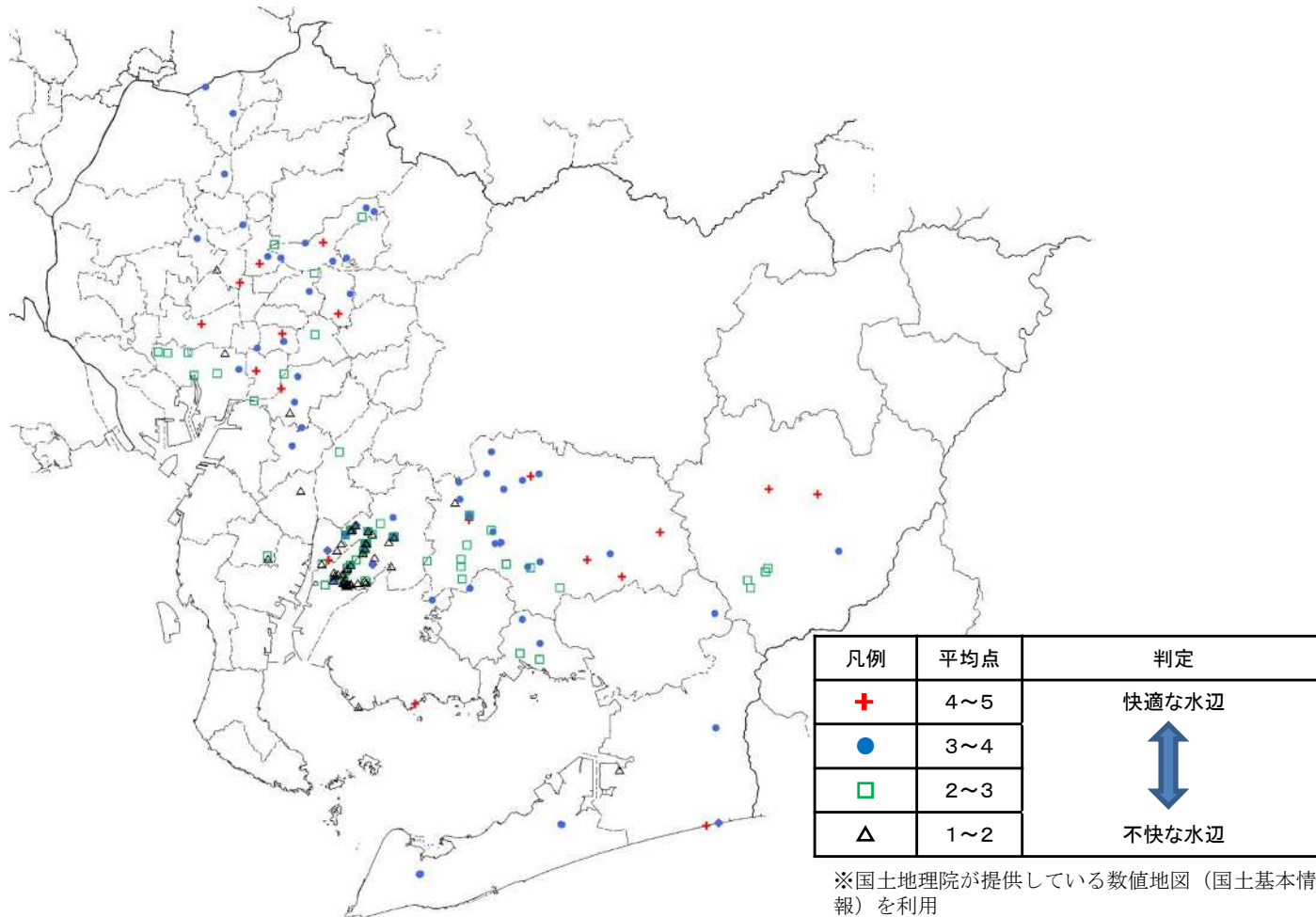
令和4（2022）流域モニタリング一斉調査結果（水量）



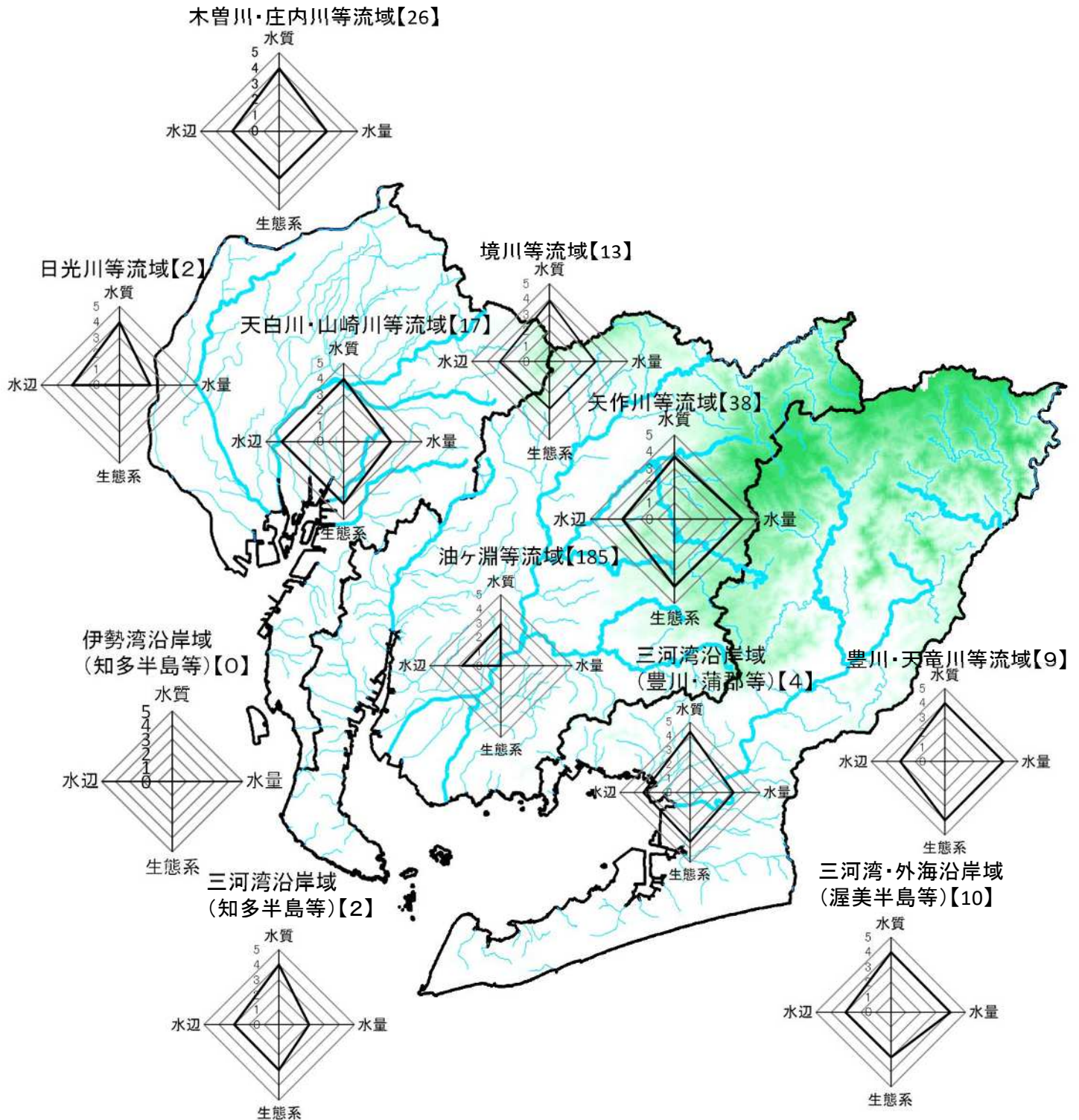
令和4（2022）年度 流域モニタリング一斉調査結果（生態系）



令和4（2022）流域モニタリング一斉調査結果（水辺）



令和4（2022）年度 流域モニタリング一斉調査結果（流域別とりまとめ）



※流域名の後ろの【 】内の数字は地点数を示しています。

※油ヶ淵等流域の水量及び生態系の調査はありませんでした。

※伊勢湾沿岸域（知多半島等）の調査はありませんでした。

※国土交通省中部地方整備局が実施した伊勢湾流域圏一斉モニタリングの調査結果は含まれていません。